

【トラック3】

『ぐり…ぐり…にちゅ…にちゅ…♡♡♡』

んちゅ…ちゅ…ちゅふ…♡れりゅ…れるれる…♡

れろれろ…れるんれるん…にゅち…にゅち…にゅち…ふは…♡♡

子宮口を亀頭さんでゆっくりこね回しながらのベロチュー、

もうかれこれ 30 分は続けていますよ…？

私の胸を揉みながら町中を散歩して金玉さんを重たくし、

街の男性たちから嫉妬の視線を浴びながら

公開種付けショーを執り行う予定だったと思うのですが…

もしかしてこのまま夜になるまでキスを続けるつもりですか…？ ♡

ここは人通りが多くて知り合いもたくさん通りますから、

できれば続きは旅館の個室で行っていただきたいのですが……

『どちゅんっ…♡♡』

んおつ…♡♡

…いいえ、なんでもありません…♡

口答えしてしまって申し訳ありませんでした…♡

本気ピストンが始まつたら街の人たちの目の前で

情けないマゾアクメを決めてしまうかもしれないのですから、

私のようなザコまんは手加減していただけているうちに

平穏のありがたさを享受しておくべきですよね…♡んちゅ♡むちゅ…♡

どうかそのまま、

おまんこ肉の温かさと気持ち良さを生おちんぽでゆつたりと楽しみつつ、

お尻を両手でムニムニもちもちと弄（もてあそ）んでいてください…♡

私も、この対面立位ペロチューがより気持ちいいものになるよう、

口の中の隅々までペロを這わせていきますね…

んちゅ♡ちゅ♡♡れりゅれりゅれりゅ♡れるれるれるれるう…♡♡♡

『ぱちゅんつ♡……ぱちゅんつ♡……ぱちゅんつ♡……ぱちゅんつ♡』

んっ♡んっ♡♡ふうつ♡うつ♡♡んおつ♡おつ♡お"つ♡おふつ…♡♡♡

ふう…♡やっと腰を振り始めたと思ったら、

ネットリと雌を追い込むゆっくりピストンですか…♡

長時間かけて下ごしらえをしたハメ穴を丁寧に味わいたいのかもしれません
んが、

私からすると……おつ♡…むしろ速いピストンより大変かもしれません
…♡♡

感度の上がりきった防御力ゼロのおまんこを、

ゾリゾリ♡ぬちゅぬちゅ♡♡とスローペースで○○○されると…
んっ…おつ……おおつ…♡♡

甘ぁいお湯を身体の中にトプトプと注がれているような感覚になります…♡

全身がフワフワと軽くなって、のぼせたようなボンヤリとした感じがして…
…んちゅ…ちゅ…れりゅれりゅれりゅう……ちゅぼ…♡♡

このまま、お客様のお嫁さんになりたいなあ…

なんて、メルヘンチックなことを考えてしまします…♡

優しくて…穏やかで…だからこそ容赦ない快感の蓄積…♡

気づいた時にはもう手遅れになっていそうな…

お客様との交尾無しでは生きていけない身体になっていそうな…

そんな恐ろしさがあります…♡ふうつ…んおつ…♡♡

それにお客様…こんな丁寧で優しい交尾をしていたら、

私とお客様の関係を街の人たちに誤解されてしまいます…♡♡

私はお客様の臨時オナホ穴であって、恋人ではないと言うのに…

んちゅ♡れりゅ♡れるれる♡♡れるれるれるる…ふは…♡♡

これではまるで、両思いのカップルがする甘ラブ子作りです…♡

こんなイチャイチャ子作りをしても、

実際に赤ちゃんを育てるのは私と私の婚約者なんですよ…？♡

どうせ種付けが済んだら

私というオナホをポイっと捨てて次の雌を探しに行くだけなのに…

乱暴な無責任中出しだけでなく、

恋人同士のようなイチャイチャ子作りまで堪能してしまうなんて、

贅沢な人ですね…♡んちゅ♡れるれるれるる…ちゅぱ…♡

自分は雌とイチャつく楽しさと雌を孕ませる気持ちよさだけを味わって、

後のことば全て他人任せ…♡

気持ちよーく精液をヌキヌキした後は、

また次の孕ませオナホを捕まえに行く放浪生活…♡

お客様からしたらそれが当たり前なのかもしれません、

普通の男性からしたら天国のような状況です…♡♡

んっ…♡ほらまた、私と交尾している最中なのに他の雌に目移りしていく
す…♡

スーパーの棚に並んだ商品を眺めるような感覚で、

『あの女もなかなか胸が大きいなあ♡

顔も割と好みだから後でベロチュー交尾しておこうかなあ♡』

なんて考えているんでしょう…？♡

雌との交尾というのは、本来そんなに気軽に出来るものじゃないんですよ

…♡

お客様はセックスに対しての認識が普通の雄とかけ離れすぎています…♡

あなたが新しい使い捨てオナホ候補くらいの軽い認識で眺めているあの子
だって、

近所の男の子たちからしたら全然手が届かない高嶺の花ですよ…♡
決して、『なんとなく気に入ったから』

なんて理由で処女ハメしていい相手ではありません…♡

まあ、特別種付け係のお客様にかかれば、

同級生からの猛アタックを断り続けている彼女に
出会いがしらの抱きしめキスをすることも可能ですし、

無遠慮でいやらしいセクハラも、

告白やデートなどの面倒な行程を全てスキップした初対面即ハメ中出しも、
すべて思いのままではあります……

可能だからといって実行していいというわけではありません…♡

あの子が孕まされたとあってはここら辺の男性たちが

みんなショックを受けてしまいますから、

とりあえず今は私との交尾で妥協しておいてください…♡

…ええ…妥協です…♡

手のひらに吸い付くしっとりとした肌と、もちもちムチムチな柔らかい肉感

…♡

良く手入れされた艶のある黒髪と、上品で大人しそうな顔つき…♡

雄の種付け欲を煽ることに特化したビジュアルを持った、

私という極上の雌で…妥協…しておいてください…♡♡

だってそうでしょう…？♡

普通の雄からしたら数秒会話するだけでも幸せを感じてしまうような雌も、

お客様からしたらそこら辺に転がっている無料コキ捨てオナホ…♡

いくらでもヤリ捨てられるし、

いくらでも孕ませていい孕み機能付きおまんこです…♡♡

ならば、私と生ハメ交尾をして孕ませるのも、もはや当然の行為…♡
むしろ、ほかの雌にいくらでも気まぐれ中出しできる状況で、
一つのハメ穴を何度も繰り返し使用することこそ、妥協に他ならないので
す…♡

他の雄たちが宝物のように扱う雌を、
使い捨てオナホのように雑に消費…♡
自分以外なら心底喜んでハメるであろうおまんこと、
妥協気分でハメハメどちらどちゅ…♡♡

真に強い雄様にしかできない、
雌を物扱いするような交尾があなたには許されています…♡
その素晴らしい権利を最大限楽しむために、
私を妥協気分で孕ませるというのも悪くないと思いますよ…♡

…ええ、おっしゃる通り、私に中出しをした後、
お客様があの子の新品おまんこにおちんぽをヌッパン♡と

挿入したとしようとしたとしても、私は止められません…♡

でも、お客様は意外に紳士な方ですから、

そんな最低なことはしないと信じています…♡

私の愛液とお客様の精液に塗(まみ)れたヌルヌルぐちょぐちょのおちんぽ

様を、

処女 JK の新品おまんこブラシでズリュズリュ♡ぱちゅぱちゅ♡とお掃除し、

ついでに尿道に残っていた精液を軽くピュッピュしちゃうようなセックス、

まさか本当にするわけがありませんよね…♡

雌の初めて…一生に一度しかない処女喪失の機会をそのような雑な方法

で消費し、

あげくのはてに、

他の雌とのベロチューで練り上げた精液で孕ませてしまうなんてこと…

しちゃ、ダメですからね…♡♡

『ぱちゅ♡ぱちゅ♡ぱちゅ♡ぱちゅ♡ ぱちゅ♡ぱちゅ♡ぱちゅ

♡ぱちゅ♡♡♡』

おつ♡♡お"お~~~~~つ♡♡♡♡♡

ふう…つ♡ふう…つ♡ふう…つ♡ふう…つ♡んお…お"つ♡(ぶしつ♡♡)

あの子の処女を奪うところを想像して、興奮してしまいましたか…？♡

あんまり激しい腰振りを披露すると、

あの子どろか街の女性たちみんなを惚れさせてしましますよ…♡

周りを見てみてください…♡

悔しそうに俯きながら私が孕まされるところを見届けようとしている男性たちと、

顔を赤くしながらお客様の腰振りを眺めている女性たちでいっぱいです…

♡

ああ、あの人なんて先週結婚したばかりだというのに、

恋心丸出しの乙女の顔で地面に愛液をポタポタと垂らしてしまっています

…♡

新婚ラブラブの人妻まで一目惚れさせてしまうなんて、罪な人ですね…♡

んちゅ…♡♡

んつ♡はうつ♡んう……お “つ♡♡(ぶしつ♡♡)

今から中出しするから受精する準備しとけ♡なんて…

そんなかっこいいことを言われたらまた脳イキしてしまいます…♡

もうすでに子宮は屈服済みなのですから、

これ以上不必要に胸キュンアクメさせないでください…ちゅぱ♡ちゅぱ

…♡♡

『どちゅんつ♡♡♡』

お“つ♡♡♡

『ばちゅつ♡♡♡♡』

ん”う♡♡♡

『ぱつつつ…………ちゅんつ♡♡♡♡♡』

お “おつ♡♡♡♡♡♡

『ジョボボボボボボボ♡♡♡♡ドビュロロロロロロ～～～～～～～～～

～～～～～～～つ♡♡♡♡♡♡♡ドブツ♡♡ドブツ♡♡ドプロロロロロ
ロロロ～～～～～～～～～つ♡♡♡♡♡』

お”おつ♡♡♡お”つ♡♡お”～～～つ♡♡♡♡♡

んむつ♡♡ちゅ♡♡れりゅれりゅれりゅ♡れるれる♡♡れるれる♡♡

れりゅれりゅれりゅう……ふはつ…♡♡♡

はあ…はあ…はあ…♡♡

おつ…♡おつ…んう…♡♡

…はい…中出しが済んだ後も余韻アクメが収まらず…んつ…♡

射精直後のおちんぽ様をなんども締め付けてしまい申し訳ございません…

♡

ふおつ…♡♡おつ…♡おお…つ♡♡

…見物客の雌たちにも種付けしに行くから

ペロチューで新しい精液つくる手伝いをしろ…ですか…♡

んちゅ♡ちゅ♡れるれる…れるれるれるれる…ちゅぱ…♡

まったく…結局あの子たちも孕ませてしまうんですね…♡

ちゅ…んちゅ…ちゅ…♡♡